

【習得している知識・技能等】
 ・環境に配慮した生活の工夫
 ・家庭生活と仕事

本時の学習を通して育てたい力

○ 近隣の人々との関わりを考え、自分の家庭生活を工夫することができる。

《本時での活用とは》
 近隣の人々と共に快適に生活するために、環境に配慮した家庭生活の工夫を考えることができる。

- ◇ 学年 第6学年
- ◇ 題材名 近隣の人々と快適に生活するためには
- ◇ 本時の目標 近隣の人々との関わりについて理解し、共に快適に生活するための工夫を考えることができる。
- ◇ 学習の流れ(1時間目/全3時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 課題意識をもたせる。	◇地域で高齢者が健康に生活していることを確認するために、高齢者の家の前に、黄色い旗を掲げている地域の例を挙げ、何のために黄色い旗を掲げているのかを考えさせる。また、高齢者の笑顔の写真を見せて、意見を言わせることで、「快適」のイメージをもたせる。	
2 本時のめあてを確認する。		
近隣の人々と共に、より快適に過ごすために自分にできることを計画しよう！		
3 地域の中で、自分が近隣の人々と関わって生活していることについて考える。 ◇散らかったゴミを片付けてくれている。 ○登下校で挨拶をしてくれたり、安全を守ってくれたりしてくれている。 ☆廃品回収に参加した ……	◇「◇近隣の人々に支えられていること」、「○近隣の人々と関わってうれしかったこと」、「☆自分がしたこと」等について考えさせる。 ◇児童の住む地域の拡大マップを準備し、個人で付箋に考えを記入させた後、全体で拡大マップの関連する場所に付箋を貼らせながら交流させる。出た意見を数班に紹介させる。その後、意見をまとめ、教科書等を利用して近隣の人に迷惑をかけている例を紹介する。 ◆付箋の記入に戸惑っている児童には、家族以外の人々と関わった経験や地域の活動を想起させ導く。	<p>考えや気付きを自分の言葉でまとめさせ、考えを整理させましょう。</p> <p>★近隣の人々との関わりを整理させることにより、課題に気付かせるとともに思いやりの気持ちをもつことや協力し合うことの大切さを実感させ、家庭生活での実践へつなげることができるようにする。</p>
4 近隣の人々と関わっている中でも、環境に関することについて地域の方の考えを知る。	◇本時は環境に視点を当て、環境について地域の方が配慮していることや困っていることについてのVTRを視聴させ、自分が家庭生活でできることを考えさせるためのきっかけにする。家庭生活は、家族の協力だけでなく、近隣の人々との関わりで成り立っていることが伝わるVTRを使用する。	
5 自分に関わる環境についての課題を決め、自分が家庭生活でできることを考える。	◇自分に関わる環境についての課題を設定させ、解決策を個人で考えさせる。また、課題を設定した理由を記入させる。その際、自分の家庭生活と近隣の人との関わりを入れて記入するように伝える。 ◆課題の設定や解決策について悩んでいる児童には、これまで学習した、環境や家庭の仕事に関する教科書の該当箇所を示しながら助言する。	<p>・自分の家庭生活が近隣の人々との関わりで成り立っていることや協力し助け合っていく必要があることについて理解している。 〔家庭生活についての知識・理解〕 (ワークシート)</p> <p>・近隣の人々との関わりについて見直し、快適に生活するための方法について考えたり、自分なりに工夫したりしている。〔生活を創意工夫する能力〕 (ワークシート)</p>
6 本時のまとめをする。	◇グループで解決策を交流させ、更に加えたら良い工夫について、お互いに伝えさせる時間をつくる。 ◇「A 自分の家庭生活と近隣の人々との関わりについて考えたこと」、「B 自分にできることを計画できたか」についてまとめをさせる。	
<p>児童のまとめ例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A 決められた日にゴミを出さなかったり、分別をせずに出したりしているために地域の役員の方がポスターで呼びかけたり、網をかけ生ゴミが荒らされないようにしてくれている。お互いに協力して気持ちよく暮らせるようにしないといけない。 ・B 私は家でこれくらいいいやと思い分別せずにゴミを出していたが、今日は、家族に分かるようにゴミの収集日や分別の表示をつけたら、ゴミを減らしたりする工夫をすることを考えた。時にはゴミ出しも手伝いたい。 		
7 本時を振り返り、次時につなげる。 ◇ 次の時間までに、ゴミを減らす工夫をもう少し調べてきたい。	◇次時は、実践計画を立てることを伝え、実践できる日程等について家族に相談してくるよう伝える。 また、次時までに自分にできることがあれば記入させる。	